

「第3次おかやま夢づくりプラン」改訂方針

1 改訂の趣旨

- ・すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き生き岡山」の実現に向けて、行動計画の一層の重点化を図るなど、「第3次おかやま夢づくりプラン」（以下、現プラン）の見直しを行う。

2 プランの期間

- ・長期構想は、平成37年（2025年）頃を展望する。
- ・行動計画は、平成26年度（2014年度）を初年度とし、平成28年度（2016年度）を目標年度とする。

3 改訂の考え方

- ・現プランの性格と大枠を維持しつつ、「生き生き岡山」の実現に向けて、内容の一層の重点化を図る。
- ・長期構想としては、将来において実現すべき「生き生き岡山」の姿を展望する。
- ・行動計画は、本県を取り巻く環境の変化やこれまでの事業成果を踏まえ、「生き生き岡山」の実現のために特に重点的に取り組むべき施策を盛り込む。

4 プランの構成

- ・現プランを引き継ぎ、全4章立てとする。

(1) 基本的な考え方

- ・「生き生き岡山」の実現を基本目標とし、所要の見直しを行う。

(2) 長期構想

- ・「目指すべき岡山の姿」として、「生き生き岡山」を掲げる。
- ・現プラン策定時からの状況変化や、展望年次の変更を踏まえた見直しを行う。
※長期構想：2025年頃を展望（現プランでは2020年頃を展望）
- ・県民局の所管区域ごとに、地域の目指すべき姿を示す。

(3) 行動計画

- ・現プランの基本戦略とプロジェクトを、一層の重点化を図る観点から見直し、次の3つの重点戦略に再編する。

〈重点戦略〉

- ①教育県岡山の復活
- ②地域を支える産業の振興
- ③安心して豊かさが実感できる地域の創造

- ・重点戦略には、計画期間内に重点的に取り組む戦略プログラム（施策群）を盛り込む。
- ・指標は、戦略プログラムの達成度や進捗度を適切かつ分かりやすく示すものとなっているかどうかという視点で精査し、必要な見直しを行うとともに、名称を「生き生き指標」に改める。

(4) プランの進め方

- ・費用対効果に一層留意しつつ計画期間内に具体的な成果を現すこと、統計分析に基づく課題解決を行うことや業務改善に対する意識の向上などを盛り込む。

5 改訂スケジュール

- ・プランは、概ね次のスケジュールにより策定する。

平成25年	5月	改訂方針公表
	8月	改訂素案公表、パブリックコメント
	12月	議案提出

6 改訂の進め方

(1) 幅広い意見を踏まえて改訂

- ・県民満足度調査の結果を踏まえるとともに、県議会や市町村の意見はもとより、各県民局での地域懇談会の開催などにより、幅広く県民の意見を伺うとともに、県外有識者からの意見も伺いながら改訂を進める。

(2) 県庁が一丸となって改訂

- ・各部局や各県民局が連携し、全庁が一丸となって改訂作業に取り組む。